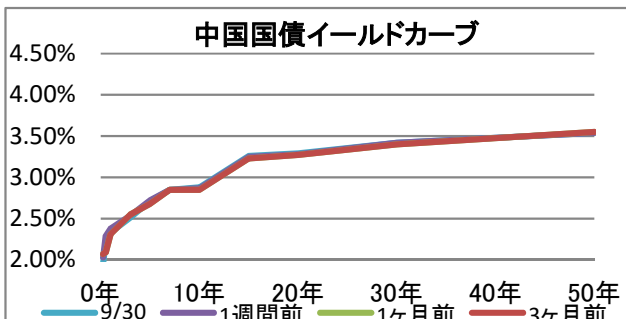
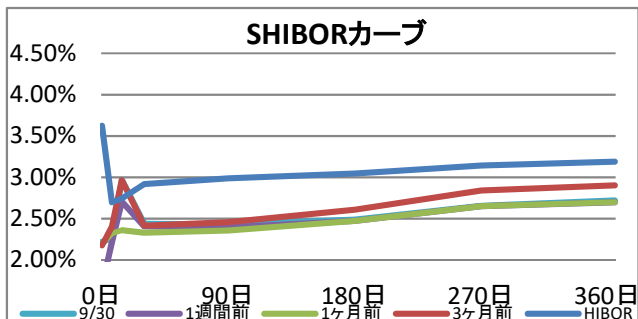


## ①市場概況

基準レート		2021/9/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4854	+0.0255
	JPY/CNY	5.7929	-0.0640
SHIBOR	3M	2.4310%	+0.0340%
国債利回り	10年	2.88%	+0.01%
上海総合指数		3,568.17	-44.90



### (1) 概況

米国ではFOMC後に早期テーパリングが意識され、債務上限問題も加わって株式、債券ともに週初の急落（利回り上昇）後につなぎ予算の成立やインフラ投資法案合意への期待等から買戻しが入ったものの、先行き不透明感は払拭できておらず、欧州市場では株式市場が下落し、債券市場が上昇する弱気な相場展開となった。

中国金融市場では、不動産大手の信用問題に停電問題や製造業PMIの悪化が加わりリスクオフとなり、株式市場、債券市場ともに下落したものの、国慶節連休前とあって値幅は限定的。

中国人民銀行と中国銀行保険監督管理委員会は、主要銀行を集めた不動産関連融資座談会を開催し、抑制的で安定した運営により不動産市場の安定かつ健全な発展に貢献することを要請している。また、中国人民銀行の易総裁は「金融研究」に中国の金利市場改革について寄稿し、市場化が完了しているとの認識を示し、非伝統的政策である量的緩和については現状必要なく、必要な場合には実施するが、あくまで避難措置であり、規模は小さく、期間は短く実施することを原則とすると述べている。また、中国証券業監督管理委員会は、米国の資産運用会社に3社目となる外資100%出資の資産管理業務の開始を認可している。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、四半期末とその後の国慶節連休を見据え、リバースオペ期日1,700億元に対して新規リバースオペ5,000億元の実施により差額3,300億元を供給している。

### (3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局のPMI (9月) は、製造業が49.6 (8月50.1)、非製造業が53.2 (同47.5)、総合で51.7 (同48.9) となり、非製造業が回復する一方で、製造業が停電等の影響もあって6ヶ月連続の低下により19ヶ月ぶりに50を下回った。
- ・ 財新製造業PMI (9月) は、50.0 (8月49.2) と若干回復している。需要は内需を中心に回復がみられる中で、新型コロナウイルス感染再拡大や停電、材料不足による供給側の生産水準の低下が影響し、生産性改善が雇用の伸びを抑制する要因となっている。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.2200%	1.8000%	2.0000%	
1W	2.2660%	2.3300%	2.2800%	
2W	2.9700%	3.1000%	2.8500%	2.3500%
1M	2.4390%	4.2000%	3.1000%	2.2000%
3M	2.4310%	2.5000%	3.0000%	2.3500%
6M	2.4890%	4.0000%		2.5500%
9M	2.6550%			2.7000%
12M	2.7220%			2.7200%

月末（四半期末）とその後の国慶節連休を前に中国人民銀行の積極的な資金供給が維持されたことから、波乱なく国慶節を迎えられている。ターム物の出合いは1ヶ月を除き限定的。

NCDは、1ヶ月と1年を中心に活発な取引が続き、月末（四半期末）越えとなる週前半は1ヶ月が2.7%台、3ヶ月が2.5%台、6ヶ月が2.7%台で取引されていたものの、月末要因が無くなると金利水準も低下している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.20%、3ヶ月が2.35%、6ヶ月が2.55%、1年が2.70%前後まで低下している。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.04%	0.05%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.23%	0.25%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.40%	0.45%

資金需給に大きな変化はなく、ターム物は1ヶ月0.10%、3ヶ月0.20%前後で出合っている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.96%	2.06%	2.38%	2.56%	2.88%
6M	2.20%	2.29%	2.64%	2.75%	3.07%
1Y	2.33%	2.42%	2.75%	2.83%	3.14%
3Y	2.51%	2.76%	2.98%	3.16%	3.99%
5Y	2.71%	3.00%	3.40%	3.50%	4.40%
10Y	2.88%	3.24%	3.66%	3.76%	4.67%

債券市場では、四半期末を前に資金需給がタイトとなっていたことや米国債の下落（利回り上昇）により、先物を中心に下落して始まったものの、中国人民銀行の多額の資金供給により資金需給が改善し、停電問題等も加わって先行き懸念も高まったことから、国慶節連休を前に債券利回りの上昇は限定的に止まった。

イールドカーブは、中長期で売り圧力がかかる中、資金需給の改善により短期債利回りは低下したことから、スティーピング化している。クレジットスプレッドは、不動産大手の信用不安が高まっているものの、高格付け信用債市場は総じて安定しており、クレジットスプレッドに概ね変化は見られない。

債券通（9月）は、取引数、取引額ともに2ヶ月連続で減少している。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	27.0 / 28.0
1M	145.0 / 148.0
3M	450.0 / 455.0
6M	880.0 / 884.0
9M	1287.0 / 1295.0
12M	1688.0 / 1693.0

対ドル基準レートは、6.4854週末比+255pipsのドル高元安、対円基準レートは5.7929の同-640pipsの円安元高と、引き続きドル高地合いを受けた設定が続いているものの、CFETS人民元指数は5年来の高水準となっている。国内市場では月末のドル決済ニーズもあって一時6.48台まで人民元安が進んでいたものの、当局が過度の変動に神経質になる中、ドル買い一巡後は6.46台に戻している。

先物は、四半期末要因の剥落による人民元金利の低下を映じてスワップ幅が縮小しており、6ヶ月が900台を、1年では1700台を割り込んでいる。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.34%		3.19%
6M	2.33%	2.56%	3.15%
9M	2.34%	2.59%	3.16%
1Y	2.38%	2.63%	3.18%
3Y	2.53%	2.94%	3.30%
5Y	2.72%	3.17%	
7Y	2.86%	3.31%	
10Y	3.01%	3.50%	

連休を前に小動きとなる中、短期の基準金利が上昇していることもあってスワップ金利は若干上昇している。中長期の債券利回りにはほぼ変化がなく、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは若干拡大している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。